

教育研究業績書

令和 5 年 5 月 1 日
氏名 丁 仁 京

研究分野	研究内容のキーワード	
言語学、外国語教育	文法語用論、社会言語学、日韓対照研究、敬語表現、観光施設の多言語対応、エンターテインメント、韓国語教育	
教育上の能力に関する事項		
事 項	年 月 日	概 要
1. 教育方法の実践例		
1 ジャーナル	2010 年 4 月 1 日～現在	授業の最後に当日のポイントを、整理リストアップを提出させ、授業への集中力の向上と理解・定着度の確認とフォローアップによる習熟度の向上が図れる。
2 シチュエーションとインプロ	2010 年 4 月 1 日～現在	学生にペア、あるいはグループを組ませ、学習した内容を活用し、実践を想定した場面設定上でロールプレイする学習活動の実施し、レベルアップを図っている。
3 プロジェクト型学習（PBL）	2010 年 4 月 1 日～現在	韓国の小説や昔話の内容をもとに、ドラマ化してグループで演じたり、K-POP の歌詞を翻訳してグループでダンス練習もし、総合的な成果を発表したり、韓国語を用いて地域の観光地や日韓の社会・文化を比較するプレゼンテーションをしたりなど、韓国語の表現力アップと達成感を感じさせるアクティブな授業を実施し、能動性と協働性が涵養される授業を行っている。
4 内容言語統合型学習（CLIL）	2015 年 4 月 1 日～現在	学術的な内容を扱いながら同時に韓国語スキルを伸ばすために、生の教材（新聞記事、雑誌、パンフレットなど）を多用し、韓国の社会や文化理解を深めつつ批判的思考力とリサーチスキルが養えるような授業を工夫している。
5 言語と社会・文化の統合学習	2018 年 4 月 1 日～2022 年 3 月	韓国語初級授業に韓国の社会・文化を取り入れ、韓国への興味を引き出し、それを韓国語学習への興味関心に繋げることと、さらに、語学だけではなく韓国の社会や文化にも関心を持たせることを目的としている。

2. 作成した教科書、教材		
1 韓国語教本 ハングルマダン	2017 年 1 月 30 日	福岡大学で共通教育科目として韓国語の授業で使用することを念頭に作成されたテキストである。
2 チョアヘヨ! 韓国語 初級	2018 年 1 月 30 日	明星大学で共通教育科目として韓国語を履修する学部生向けの初級テキストである。
3 チョアヘヨ! 韓国語 中級	2018 年 1 月 30 日	明星大学で共通教育科目として韓国語を履修する学部生向けの中級テキストである。
4 韓国語教本 ハングルマダン 改訂版	2020 年 1 月 30 日	福岡大学で共通教育科目として韓国語の授業で使用することを念頭に作成されたテキストである。
5 韓国語学習のおやつー10 分で 知る韓国の社会と文化	2021 年 1 月 30 日	福岡大学で共通教育科目として韓国語の授業で使用することを念頭に作成されたテキストである。韓国語の授業にプラスして、韓国の社会と文化を扱うための副教材である。
6 チョアヘヨ! 韓国語 初級・中 級の「解説動画」及び「クイズ レット学習セット」	2021 年 3 月 25 日	韓国語授業と連動した視聴覚教材である。学生が授業時外でも自由にアクセスし予習・復習ができるように配慮している。学習者のモチベーションアップから学力アップに繋がる効果を目指している。(YouTube『チョアヘヨ! 韓国語』)
7 総合韓国語中級発展テキスト 韓国を語る	2022 年 12 月 23 日	韓国の社会と文化を中心とした総合韓国語中級発展テキストである。本書の特徴は、「韓国の基礎」、「韓国の生活文化」、「韓国の文化と芸術」、「韓国の社会と未来」の4つのテーマで構成され、これまでの知識や理解をより深めつつ批判的思考力とリサーチスキルが養えるようになっている。
8 チンチャ! チョアヘヨ!! 韓国 語 1	2023 年 1 月 30 日	明星大学で共通教育科目として韓国語を履修する学部生向けの初級テキストである。
9 「TOPIK 検定試験」の補習解説 動画	2023 年 5 月 1 日	佐賀女子短期大学にて e-learning 韓国語学習コーナーに、「TOPIK」の補習資料をとして、学生が授業時外でも自由にアクセスし予習・復習ができるように配慮している。学習者のモチベーションアップから学力アップに繋がる効果を目指している。

3. 教育上の能力に関する大学等の評価 特になし		
4. 実務の経験を有する者についての特記事項 1 企業内教育・研修の講師 2 社会教育講座の講師	2006 年 4 月 1 日 2006 年 4 月 1 日 2015 年 9 月 1 日 2016 年 11 月 12 日	ボッシュ(株)などの大手企業や、農林水産省、法務省、警視庁公務員の「韓国語研修」講師（2009 年 12 月まで） 麗澤大学麗澤オープンカレッジ講座「韓国語」講師、入門から上級までの文法・会話・読解の授業を担当した。（2015 年 3 月まで） 韓国観光公社福岡支社コリアプラザ講座「映画鑑賞会」講師、上映映画作品の選定および解説を行った。（2020 年 11 月まで） 福岡大学市民カレッジ講座「ことばの雑学」講師（「韓国語の敬語表現の変化：日本語との比較を通して」2016.11.12／「韓国語の形式名詞「것(コッ）」と日本語の形式名詞」2017.05.20／「日韓の言語と文化の比較」2018.06.16）
5. その他 1 韓国語教師研究会に参加	2016 年 7 月 24 日	韓国福岡教育院主催の「九州地域韓国語教師研修会」に参加し、研修会で得た知識を韓国語教育に活かしている。（2016 年 7 月 24 日、2017 年 7 月 23 日）
職務上の実績に関する事項		
事 項	年 月 日	概 要
1. 資格、免許 1 「観光言語専門学士」の学位取得 2 「学士（文学）」の学位取得 3 「修士（文学）」の学位取得 4 「博士（文学）」の学位取得 5 「韓国語教員養成課程」修了 6 「観光宿泊従事員」の資格取得	1999 年 2 月 2005 年 3 月 2007 年 3 月 2012 年 3 月 2013 年 5 月 1999 年 3 月	三育義明大学 第 3842 号（現：三育大学） 麗澤大学 第 8983 号 麗澤大学 第 267 号 麗澤大学 第 38 号 ソウル大学校生涯教育院 第 2013- N000014-01-556209 号 韓国観光協会 第 0101-1-99-0231 号

7 「国内旅行案内員」の資格取得	1999年3月	韓国観光協会 第0101-2-99-0215号
8 日本語能力試験(JLPT)1級取得	2002年2月	財団法人日本国際教育協会および国際交流基金主催 1E07646-1150350
2. 特許等 特になし		
3. 実務の経験を有する者についての特記事項		
1 科学研究費助成事業による研究活動	2020年4月1日～2023年3月31日	日本学術振興会科学研究費助成事業(基盤研究C)「現代韓国語敬語における使用原則の変化に関する語用論的調査と考察」(研究課題番号:20K00561)の研究体表者として、研究分担者3名体制で研究を率いている。
	2020年4月1日～2023年3月31日	日本学術振興会科学研究費助成事業(基盤研究C)「隣接国間の相互理解に資する観光関連施設の多言語対応ー北部九州における韓国語対応ー」(研究課題番号:20K12446、研究代表者:長谷川由起子)において「資料の収集、観光施設の韓国語対応に関する課題考察、発表、論文執筆」を担当している。
2 韓国国際交流財団助成事業による研究活動	2019年4月1日～2021年3月31日	朝鮮語教育学会(韓国語教育実情調査分科会9名)と韓国国際交流財団との共同研究「日本における韓国語教育実情調査」(研究体表者:長谷川由起子)において、日本における韓国語の授業運営・授業システムに関する調査、分析、発表、報告書の作成、会計」を担当した。
4. その他		
1 学会委員	2016年3月～2018年2月	韓国日本文化学会 編集委員
	2019年4月～現在に至る	朝鮮語教育学会 世話人
	2020年3月～現在に至る	韓国日本文化学会 一般理事
2 学会誌の論文査読	2016年3月～2018年2月	韓国日本文化学会の学会誌『日本文化學報』論文査読11本
	2019年4月～現在	朝鮮語教育学会の学会誌『朝鮮語教育ー理論と実践ー』論文査読2本

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(著書) 1 韓国語教本 ハングルマダン (再掲)	共著	2017 年 1 月	朝日出版社 総 212 頁	共同執筆につき担当部分抽出不可能。共著者：松崎真日・熊木勉・金昴京・ <u>丁仁京</u> ・李秀炅 ISBN: 978-4-255-55673-4
2 チョアヘヨ! 韓国語 初級 (再掲)	共著	2018 年 1 月	朝日出版社 総 124 頁	担当部分：文字と発音 第 4 課～第 6 課、発音の変化・ハングルかな表記 (pp.17-35)、本文 第 4 課～第 6 課 (pp.52-63)、第 10 課～第 13 課 (pp.80-104)。 共著者：金庚芬・ <u>丁仁京</u> ISBN: 978-4-255-55658-1
3 チョアヘヨ! 韓国語 中級 (再掲)	共著	2018 年 1 月	朝日出版社 総 120 頁	担当部分：読解&作文 (1 回)・第 5 課～第 8 課 (pp.26-49)、読解&作文 (2 回～3 回)・第 13～第 16 課 (pp.69-96)。 共著者：金庚芬・ <u>丁仁京</u> ISBN: 978-4-255-55659-8
4 韓国語教育 論講座 第 3 卷 (招待有)	共著	2018 年 1 月	くろしお出版 総 686 頁	野間秀樹編、担当部分：「韓国語の形式名詞‘것’と日本語の形式名詞」(pp.67-89)、韓国語に複数存在する連体形語尾の使い分けを視野に入れ、日本語の形式名詞「もの、こと、の」とも比較しながら、韓国語の形式名詞‘것 geos’の文法的な性質を明らかにしたものである。 SBN:978-4-87424-754-9
5 韓国語教本 ハングルマダン 改訂版 (再掲)	共著	2020 年 1 月	朝日出版社 総 214 頁	担当部分：「全体構成の再構築と修正」「文字と発音編の再構成と修正」。 共著者：松崎真日・ <u>丁仁京</u> ・熊木勉・金昴京・李秀炅 ISBN: 978-4-255-55673-4
6 韓国語学習 のおやつー10	共著	2021 年 1 月	朝日出版社 総 100 頁	担当部分：50 トピック中、10, 13, 19, 23, 26, 33, 35, 38, 39, 41,

分で知る韓国 の社会と文化 － (再掲)				45, 48 を担当 (総 24 頁)。 共著者: 松崎真日・ <u>丁仁京</u> ・安藤 純子・趙賢眞 ISBN: 978-4-255-55679-6
7 現代韓国語 の形式名詞 「것 geos」に 関する研究	単著	2021 年 5 月	博英社 総 238 頁	本書は韓国語の形式名詞「것 geos」及び「것」諸形式について スコープ機能を導入し、連体形 語尾との関連からその意味・機 能の究明、及び日本語の形式名 詞との比較を通じて「것」の言 語学的な位置づけを明らかにし たものである。 ISBN: 978-4-910132-07-5
8 総合韓国語 中級発展テキ スト 韓国を 語 (再掲)	共著	2022 年 12 月	博英社 総 183 頁	担当部分: 第 2 課 (pp.13-23)、 第 6 課～第 7 課 (pp.57-76)、 第 13 課 (pp.129-138)。 共著者: 林炫情・ <u>丁仁京</u> ・崔文 姫・木下瞳 ISBN: 978-4-910132-25-9
9 チンチャ! チョアヘヨ!! 韓国語 1 (再掲)	共著	2023 年 1 月	朝日出版社 総 139 頁	担当部分: 文字と発音編: 第 4 課 ～第 6 課 (pp.17-29)、参考 1～ 3 (pp.30-33)、本文と会話編: 第 4 課～第 6 課 (pp.54-71)、第 12 課～第 15 課 (pp.96-115)。 共著者: 金庚芬・ <u>丁仁京</u> ISBN: 978-4-255-55702-1
10 イラスト で覚える韓国 語 慣用表現	共著	2023 年 4 月	博英社 総 92 頁	担当部分: 150 トピック中、No.1 ～No.75 を担当 (pp.1-45) 共著者: 林炫情・ <u>丁仁京</u> ISBN: 978-4-910132-28-0
11 イラスト で覚える韓国 語 ことわざ	共著	2023 年 4 月	博英社 総 92 頁	担当部分: 150 トピック中、No.1 ～No.75 を担当 (pp.1-45) 共著者: 林炫情・ <u>丁仁京</u> ISBN: 978-4-910132-27-3
12 イラスト で覚える韓国 語 四字熟語	共著	2023 年 4 月	博英社 総 74 頁	担当部分: 120 トピック中、No.1 ～No.60 を担当 (pp.1-35) 共著者: 林炫情・ <u>丁仁京</u> ISBN: 978-4-910132-26-6

(学術論文) 1 韓国語の〈것이다 geosida〉と〈게다 geda〉について－意味と機能の観点から－（査読付）	単著	2007 年 3 月	麗澤大学大学院言語教育研究科修士学位論文、総 76 頁	〈것이다〉にはスコープ機能とモダリティ機能があるが、一方、縮約形〈게다〉にはスコープ機能はないこと、さらに終結語尾として機能する〈ㄴ게〉は統語的、意味的、形式の面で最も制限され特化された形式であると論じた。
2 韓国語の「것이다/geosida」に由来する諸形式の総合的研究（査読付）	単著	2008 年 3 月	麗澤大学大学院言語教育研究科論集『言語と文明』第 6 巻、pp.137-162	「것이다」にはスコープ機能とモダリティ機能があるが、一方、縮約形「게다」にはスコープ機能はないこと、さらに終結語尾として機能する「ㄴ게」は統語的、意味的、形式の面で最も制限され特化された形式であると論じた。
3 韓国語の文末表現「것이다」のスコープ機能（査読付）	単著	2008 年 7 月	朝鮮学会『朝鮮学報』第 208 輯、pp.29-64	文末表現「것이다 geosida」には従来から指摘されているモダリティ機能の他に、スコープ機能があることを指摘し、このスコープの「것이다」文は、構成要素それぞれの機能が残っており、〈名詞化機能をもつ「것 geos」＋「이다 ida」〉という分析的な構造に近いと論じた。
4 韓国語の終結語尾 ‘-ㄴ걸 (-lgeol)’ に関する考察－コーパスに基づく分析－（査読付）	単著	2009 年 3 月	麗澤大学大学院言語教育研究科論集『言語と文明』第 7 巻、pp.41-59	韓国語の ‘-ㄴ걸’ には聞き手に伝達を意図する場合と、必ずしも伝達を意図しない場合との二つの類型があり、イントネーションによってもその機能が異なることを論じた。
5 韓国語の終結語尾 ‘-ㄴ걸’ ‘-ㄴ게’ の研究－話し手が言及する情報と統語形式との関連－（査読付）	単著	2010 年 7 月	朝鮮学会『朝鮮学報』第 216 輯、pp.1-50	‘-ㄴ걸’ が表す「確実な情報」と ‘-ㄴ게’ が表す「確信している情報」という基本的な意味が、語用論的に解釈されることで様々な意味を表すと論じた。

6 現代韓国語の形式名詞 ‘것 geos’ に由来する諸形式の研究（査読付）	単著	2012 年 3 月	麗澤大学大学院言語教育研究科博士学位論文、総 208 頁	形式名詞 ‘것’ に由来する諸形式を連体形語尾との関連からその意味・機能の究明および日本語の形式名詞との比較を通じて ‘것’ の言語学的な位置づけを試みた。
7 韓国語の事物尊称について（査読付）	単著	2013 年 3 月	麗澤大学大学院言語教育研究科論集『言語と文明』第 11 巻、pp.55-71	主体尊敬語尾 ‘-시 si-’ を無情物などに用いる「事物尊称」が出現したメカニズムと成立条件を明らかにしたものである。事物尊称は「所有者の拡張」に基づく素材敬語という側面と、対者敬語としての側面を合わせ持つ表現と考えることができると主張した。
8 韓国語の連体修飾節名詞句の語彙化－日本語との比較－（査読付）	単著	2014 年 3 月	麗澤大学大学院言語教育研究科論集『言語と文明』第 12 巻、pp.35-49	韓国語の「連体形＋名詞」構造における語形成と、日本語の連用形における語形成との比較を行ったものである。日本語は形態面から一語であることが明確であるのに対し、韓国語では形態面からは一語である場合も句である場合もあり得ることを明らかにした。
9 日韓両言語の文末思考動詞に関する研究－「と思う」と「고 생각하다」を中心に－（査読付）	共著	2014 年 11 月	韓国日語日文学学会『日語日文学研究』第 91 輯 1 巻、pp.43-68	「と思う」は、命題的な意味・確定的な情報を述べる場合・未確定的な情報を述べる場合・宣言のように、一個人の意見表出から公的で社会的な文体に至るまで使われることから、対人的機能があり、語用論的であると言える。それに対して「고 생각하다 go saenggaghada」は命題的な意味が強く、意味論的であるが、対人的機能は持っていないことを明らかにした。 共著者：竹村和子・丁仁京 共同研究につき本人担当部分抽出不可能
10 韓国語の先語末語尾 ‘-시(si)-’ の対	単著	2016 年 9 月	福岡大学研究推進部『福岡大学人文論叢』第 48 巻 2 号、	韓国語の先語末語尾 ‘-시-’ が素材敬語から対者敬語へとその機能が拡張していることを明確に

者敬語化－日本語との比較－			pp.561-592	し、日本語の敬語表現との比較を行ったものである。
11 韓国語の形式名詞 ‘것 (geos)’ と日本語の形式名詞の対照研究	単著	2017年12月	福岡大学研究推進部『福岡大学人文論叢』第49巻3号、pp.839-870	韓国語の形式名詞 ‘것’ と日本語の形式名詞「もの・こと・の」と対照研究を行い、両言語の類似点と相違点を明らかにした。
12. 韓国語教育における活動型授業の実践報告－プレゼンテーション発表を通して－	単著	2018年12月	福岡大学研究推進部『福岡大学研究部論集 A：人文科学編』18巻2号、pp.109-120	福岡大東アジア地域言語学科「韓国コース」専攻の中級クラスを対象に、韓国語の運用能力を総合的に活用したプレゼンテーション発表を用いた活動型授業における題材設定から評価までの過程と学習効果を報告したものである。
13 The Shift in Honorifics in Contemporary Korean: A Focused Study of the Subject Honorific ‘-si’	単著	2020年2月	福岡大学教育開発支援機構『福岡大学教育開発支援機構紀要』第2号、pp.29-43	近年、韓国語では社会状況に伴い敬語運用や意識も大きく変わってきている。本研究は、韓国語の素材敬語である主体尊敬語尾 ‘-시 si’ の対者敬語への変化について、文法的、語用論的、社会言語学的な観点から考察を行い、その全体像を探ることを試みたものである。
14 問いかけのコミュニケーション機能に関する日韓対照研究（査読付）	共著	2021年2月	韓国日本文化学会『日本文化學報』第88輯、pp.273-296	日韓のコミュニケーションにおける問いかけの機能を調査し、両言語の問いかけが遂行されている仕方の違いを明らかにするとともに、それらを通して両言語の会話の特徴を探ることを目的としたものである。 共著者：志田原由美子・丁仁京・滝浦真人。共同研究につき本人担当部分抽出不可能 https://DoI.org/10.21481/jbunka..88.202102.273 .
15 韓国語の行為指示表現 ‘-실게요(silg eyo)’ に関する	単著	2021年12月	福岡大学研究推進部『福岡大学研究部論集 A：人文科学編』21巻2号、	韓国語の新しい行為指示表現 ‘-실게요’ について、先行研究をレビューすると共に、統語論的・語用論的観点から考察を行い、

る研究			pp.21-28	‘-실게요’が成立するメカニズムやその使用背景を検討した。その結果、尊敬接辞 <i>-si</i> の機能拡張に伴い、「2人称意思尊敬形の行為指示表現化」していることを明らかにした。
16 長崎県長崎市の観光施設における多言語対応の現状－韓国語対応の課題を中心に－	単著	2023年3月	福岡大学研究推進部『人文論叢』54巻4号、pp.1045-1071	長崎県の観光施設における多言語対応としての韓国語、具体的には、観光施設周辺の案内板や展示物の解説文などの現状を調査し、課題を検討し、改善策を提案したものである。
(その他) (学会発表)				
1 韓国語の「것이다」に由来する諸形式の意味と機能の分析	単独	2007年5月	第218回朝鮮語研究会、於東京大学	本発表は「것이다 geosida」と「게다 geda」との形態の違いによる意味と機能の違いを明らかにし、「게다」形式の中にあつて「ㄴ게 lge」は最も制限され特化されたものであることを明らかにしたものである。
2 文末表現「것이다」のスコープ機能	単独	2007年10月	朝鮮学会第58回大会、於天理大学	文末表現「것이다 geosida」に関しては、主にモダリティ機能を中心に研究がなされてきたが、本発表は、あまり検討がなされていない「것이다」のスコープ機能に焦点を当てて述べたものである。
3 日韓両言語の名詞化辞の対応関係－「の」「こと」と「것」の対比を通じて－	共同	2009年6月	2009年度韓国日語日文学会夏季国際學術大會、於韓国釜山大学校	本発表は名詞化する機能をもつ日本語の「の」「こと」、韓国語の「것 geos」について、実際にそれらが用いられている用例を基に考察し、その相違点を明らかにすることを試みたものである。 共同発表者：丁仁京・秋本瞳
4 韓国語の終結語尾 ‘-ㅁ길’ ‘-ㄴ길’ の考察	単独	2009年10月	朝鮮学会第60回大会、於天理大学	本研究は形式名詞 ‘것 geos’ に由来する終結語尾 ‘-ㅁ길 ngeol’ ‘-ㄴ길 lgeol’ 形式について、その統語的・意味的特徴を明らかにすることを試みた。

5 韓国語の連体形語尾-ㄴ, -ㄴ의 意味機能－現実・非現実の観点から－	単独	2012年10月	朝鮮学会第63回大会、於福岡大学	本研究はこれまで具体的に考察されていない3つの事例を取り上げ、連体形-ㄴ n, -ㄴ l が「現実・非現実」というモダリティの意味を表すという観点から説明を加えたものである。
6 韓国語の〈連体修飾節＋名詞〉構造における語形成の位置づけ－日本語との比較－	単独	2013年11月	日本語学会第147回大会、於神戸市外国語大学	本発表は韓国語の〈連体修飾節＋名詞〉構造における語形成と、日本語の連用形における語形成との比較考察を行ったものである。
7 日韓両言語の文末思考動詞に関する研究－「と思う」と「고 생각하다」を中心に－	共同	2013年12月	韓国日語日文學會2013年冬季國際學術大會、於韓國外國語大學校	本発表は日韓対訳のコーパスを用いて、実際にそれらが用いられている用例を基に思考動詞「と思う」と「고 생각하다 go saenggaghada」を比較し、両形式の対応関係の有無の検討から、両言語における機能の相違を明らかにすることを目的としたものである。 共同発表者：竹村和子・丁仁京
8 韓国語の先語末語尾‘-시-’の対者敬語化について－日本語との比較－	単独	2015年10月	朝鮮学会第66回大会、於天理大学	本発表は、近年、その意味・機能の面で著しく変化を見せている韓国語の先語末語尾‘-시 si-’の対者敬語化について考察を行った上で、日本語の敬語表現との比較を行い、両言語の敬語の変化における類似点と相違点を明らかにすることを目的としたものである。
9 韓国語運用能力を総合的に活用した活動型教育事例－プレゼンテーション発表を通して－	単独	2018年9月	朝鮮語教育学会第79回例会、於京都女子大学	第二言語習得論分科会において、大学の中級クラスの到達度を図るためのプレゼンテーション発表を用いた授業における、題材設定から評価までの授業活動の過程と学習効果を報告したものである。
10 The Shift in Honorifics in	単独	2019年6月	16th International Pragmatics	本発表は現代韓国語における主体尊敬‘-시 si-’の対者敬語への

Contemporary Korean: A Focused Study of the Subject Honorific ‘-si- (시)’			Conference、於香港理工大学	変化について文法的、語用論的、社会言語学的観点から考察を行い、その全体像を探ることを目的としたものである。
11 韓国語の行為指示表現に関する考察－‘-실게요’を中心に－	単独	2019年10月	朝鮮学会第70回大会、於天理大学	本発表は‘-시 si-’の機能拡張に伴い新しい「行為指示表現」として用いられている‘-실게요(si lgeyo)’を中心に、統語論的・語用論的観点から考察を行い、‘-실게요’が成立するメカニズムやその使用背景を明らかにすることを目的としたものである。
12 韓国語教育実情調査(高等学校)	共同	2019年11月	高等学校韓国朝鮮語教育ネットワーク20周年記念全国大会、於駐日韓国文化院	本発表は日本の教育機関における韓国語教育実情調査「2019年度高校調査(パイロット調査)」の結果を報告したものである。 共同発表者：松崎真日・山下誠・長谷川由起子・須賀井義教・ <u>丁仁京</u> ・吳ヨンミン
13 韓国語教育実情調査報告－中間報告－	共同	2020年6月	朝鮮語教育学会第84回例会、オンライン開催	本発表は日本の学校の現状に即した枠組みの中で、2019年度の韓国語教育(大学・高校)の実情を総合的かつ詳細に把握するための調査であり、日本の韓国語教育のパターン/学習モデルを描き出すことを目的としたものである。 共同発表者：長谷川由起子・須賀井義教・山下誠・ <u>丁仁京</u> 、他6名
14 問いかけのコミュニケーション機能に関する日韓対照研究	共同	2020年9月	韓國日本文化學會第58回國際學術大會、於韓南大学校(オンライン開催)	日韓のコミュニケーションにおける問いかけの機能を調査し、両言語の問いかけが遂行されている仕方の違いを明らかにするとともに、それらを通して両言語の会話の特徴を探ることを目的としたものである。 共同発表者：志田原由美子・ <u>丁仁京</u> ・滝浦真人

15 韓国語教育実情調査 2020 中間報告	共同	2020 年 9 月	朝鮮語教育学会第 85 回例会、オンラ イン開催	2019 年に行ったパイロット調 査から得られた情報・改善点を 反映し web アンケートを開発に 向けての進行状況を報告し、さ らに、①今年度調査の特徴、② シラバス調査、③コロナ禍にお ける韓国語授業の実態調査の結 果の報告を行った。 共同発表者：須賀井義教・長谷 川由起子・ <u>丁仁京</u> 、他 6 名
16 2020 年度 韓国語教育実 情調査結果報 告（速報）	共同	2021 年 6 月	朝鮮語教育学会第 87 回例会、オンラ イン開催	本人担当：「授業運営以外の授業 システムに関する実態調査」 共同発表者：須賀井義教・ <u>丁仁 京</u> ・長谷川由起子、他 6 名
17 韓国語に おける新奇的 モノ敬語の容 認性に与える 要因の考察	共同	2021 年 6 月	日 本 言 語 学 会 第 162 回大会、オンラ イン開催	新奇的モノ敬語の容認度への影 響要因としては、主体尊敬接辞 -si-の有無と待遇形式とに関わる パターンに加え、言及内容にお ける客の関与度に差がある文タ イプ、さらには回答者の世代が 抽出された。本調査の結果は、 新奇的敬語と言える事物尊称の 使用が、対面的な話し手―聞き 手関係における「聞き手意識」 に影響されている可能性を示唆 している。 共同発表者： <u>丁仁京</u> ・滝浦真人・ 林炫情・玉岡賀津雄
18 長崎県の 観光施設にお ける韓国語対 応の現状と課 題	単独	2022 年 3 月	朝鮮語教育学会第 89 回例会、オンラ イン開催	長崎県の観光施設における多言 語対応としての韓国語、具体的 には、観光施設周辺の案内板や 展示物の解説文などの現状を調 査し、課題と改善策を検討した ものである。
（論文の翻訳） 1 朝鮮王朝の 前半期（初期 及び中期）に 於ける対中・ 対日美術交流	単訳	2008 年 10 月	朝鮮学会『朝鮮学 報』209 輯、pp.1-34	本論文は朝鮮王朝の前半期に於 ける対中・対日の美術交流に関 して明らかにしたものである。 著者：安輝濬、翻訳： <u>丁仁京</u> 現題：「조선왕조 전반기(초기 및 중기)에 있어서의 중국・ 일본과의 미술 교류」

(学会要旨集) 1 日韓両言語の名詞化辞の対応関係－「の」「こと」と「것」の対比を通じて－	共著	2009 年 6 月	2009 年度韓国日語日文学会夏季国際学術大会発表論文集、pp.63-66	本発表は名詞化する機能をもつ日本語の「の」「こと」、韓国語の「것 geos」について、実際にそれらが用いられている用例を基に考察し、その相違点を明らかにすることを試みたものである。 共著者：丁仁京・秋本瞳
2 韓国語の〈連体修飾節＋名詞〉構造における語形成の位置づけ－日本語との比較－	単著	2013 年 11 月	日本言語学会第 147 回大会予稿集、pp.137-141	本発表は韓国語の〈連体修飾節＋名詞〉構造における語形成と、日本語の連用形における語形成との比較考察を行ったものである。
3 日韓両言語の文末思考動詞に関する研究－「と思う」と「고 생각하다」を中心に－	共著	2013 年 12 月	2013 年度韓国日語日文学会冬季国際学術大会発表論文集、pp.41-45	本発表は日韓対訳のコーパスを用いて、実際にそれらが用いられている用例を基に思考動詞「と思う」と「고 생각하다 go saenggaghada」を比較し、両形式の対応関係の有無の検討から、両言語における機能の相違を明らかにすることを目的としたものである。 共著者：竹村和子・丁仁京
4 問いかかけのコミュニケーション機能に関する日韓対照研究	共著	2020 年 9 月	韓国日本文化学会第 58 回国際学術大会予稿集 [日本語学・日本語教育分科Ⅲ]、pp.2-9	日韓のコミュニケーションにおける問いかかけの機能を調査し、両言語の問いかかけが遂行されている仕方の違いを明らかにするとともに、それらを通して両言語の会話の特徴を探ることを目的としたものである。 共著者：志田原由美子・丁仁京・滝浦真人
5 韓国語における新奇なモノ敬語の容認性に与える要因の考察	共著	2021 年 6 月	日本言語学会第 162 回大会予稿集、pp.89-95	新奇なモノ敬語の容認度への影響要因を実態調査した結果、主体尊敬接辞-si-の有無と待遇形式とに関わるパターンに加え、言及内容における客の関与度に差がある文タイプ、さらには回答者の世代が抽出された。

(報告書) 1 韓国語の形式名詞‘것’に関する研究－冠形詞形語尾の意味機能との関連から－	単著	2010年11月	麗澤大学言語研究センター『日韓言語学会議－韓国語を通じた日韓両国の相互理解と共生』論文集、pp.35-60	共著者：丁仁京・滝浦真人・林炫情・玉岡賀津雄 本会議では「現代語の研究：言語構造部分」において、韓国語の形式名詞‘것 geos’と冠形詞形語尾（連体形語尾）の意味機能「現実・非現実」との関連から研究発表したものである。日韓文化交流基金後援事業。
2 일본 교육 기관 한국어 교육 현황 조사 중간 보고서(日本における韓国語教育実情調査中間報告書)	共著	2020年3月	朝鮮語教育学会 韓国語教育実情調査分科会、総84頁	本報告書は、2019年度の日本の教育機関（大学・高校）における韓国語教育実情を調査したものである。本調査では、①教育機関の変化と学習者の実情を把握し、これを反映する調査を設計、②効率的で正確な標本調査を通じて、その妥当性を検証し、③今後の深化された内容の全数調査を実施するための方法論と基礎資料を構築することを目的としたものである。 共著者：하세가와 유키코・정인경、他8名。韓国国際交流財団助成研究報告書。朝鮮語教育学会 HP、韓国語実情調査分科会にて公開
3『韓国語学習の「おやつ」－10分で知る韓国の社会と文化－』制作報告－制作背景・構成・使用法を中心に－	共著	2021年12月	福岡大学研究推進部『福岡大学研究部論集 A：人文科学編』21巻2号、pp.29-36	本書の制作背景や構成、実際授業での使用法等を報告したものである。 共著者：松崎真日・丁仁京・安藤純子・趙賢眞
4 일본 교육 기관 한국어 교육 현황 조사 최종 보고서(日本における韓国語教育実情調査)	共著	2021年12月	朝鮮語教育学会 韓国語教育実情調査分科会、総101頁	本報告書は、2020年度の日本の教育機関（大学・高校）における韓国語教育実情（コロナ禍における韓国語教育の影響等も含む）を調査した最終報告書である。本調査は、近年、外国語教育の中でも大きな位置を占めるに

最終報告書)				至った韓国語教育の詳しい実情を明らかにすることによって、韓国語教育の質的向上を図るとともに、外国語教育全般の発展に寄与することを目的としている。 共著者：하세가와 유키코・정인경、他 7 名。韓国国際交流財団助成研究報告書。朝鮮語教育学会 HP、韓国語実情調査分科会にて公開。日本語版有
(その他) 1〔招待研究発表〕日韓両言語の名詞化辞「の」「こと」「것 GEOS」の対応関係	共同	2009 年 12 月	国際交流基金日本語試験センター	第 7 回四谷コロキウム研究会 共同発表者：丁仁京・秋本瞳
2〔招待研究発表〕韓国語の形式名詞‘것’に関する研究－冠形詞形語尾の意味機能との関連から－	単独	2010 年 11 月	麗澤大学言語研究センターシンポジウム、於麗澤大学	「日韓言語学会議－韓国語を通じた日韓両国の相互理解と共生」において、現代語の研究分野の「言語構造」部分で研究発表を行った。(日韓文化交流基金後援事業)
3〔招待研究発表〕連体修飾節における‘-ㄴ 것’と‘-ㄴ 것’について	単独	2011 年 5 月	於京都大学	日本学術振興会科学研究費・基盤研究(B)の研究会（代表：金善美，課題番号：21320082、課題名：テンス・アスペクト・モダリティの相関について－日本語と韓国語を中心に－）
4〔招待研究発表〕韓国語の〈連体形＋名詞〉構造における語形成の位置づけ－日本語との比較	単独	2014 年 1 月	麗澤大学言語研究センターシンポジウム、於麗澤大学	平成 25 年度麗澤大学言語研究センタープロジェクト「名詞的表現の機能に関する対照言語学的研究」の研究会において、ワークショップ 2「語と句の間」部分で、日韓の語形成の特徴を比較研究したものを発表した。
5〔招待講演〕BTS からみる	単独	2020 年 1 月 2020 年 12 月	於明星大学	明星大学教育学部「外国事情 A (アジア)」講義において、韓国

韓国の大衆文化				の大衆文化の特徴と韓流が成長した背景及び、日本における韓流の歴史を概観し、K-POPアーティスト BTS からみる韓国の大衆文化の現状と展望について特別講演を行った。
6〔招待講演〕 BTS からみる K-Culture	単独	2022 年 1 月 2023 年 1 月	於明星大学	明星大学教育学部「外国事情 A（アジア）」講義において、韓国の大衆文化の特徴と韓流が成長した背景及び、日本における韓流の歴史を概観し、K-POPアーティスト BTS からみる韓国の大衆文化、及びエンターテインメントの現状と展望について特別講演を行った。